

すくわくプログラム推進事業実践報告書 2025年12月

	東京都新宿区戸山1-21-1
施設名	しんじゅくいるまこども園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・おたのしみ会を行った経験を、タブレットを使用しておと絵を行った。

<テーマの設定理由>

- ・おたのしみ会（行事）で楽しかったことや、嬉しかったことなどを、画用紙に絵を書いて、おと絵をすることで、保護者も経験画をじっくり観察し見ることもできた

2. 活動スケジュール

- ・おはじまりのあと、10:00～一人ひとりどんなことが楽しかったのか、楽しかったことを絵で表現をしたのち、おと絵を使って発表できるようにした。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・タブレット
- ・画用紙 ・クレヨン

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・10:00～静かな場所で、経験したことを絵に描き、その後タブレットに何の絵を書いたのか、話をする。
例：「〇〇が楽しかった」などを伝える。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

- ・おたのしみ会で楽しかったことをクラスで少し話してから書くようにすると、楽しかったことを思い出しながら描くことを楽しんでいた。
- ・周りの子どもたちも音が入らないように静かにしている姿や、どんなことを経験していたことなのか、子どもたち同士で話し合う姿も見られた。自分たちの声を聞くと、恥ずかしいようで笑ってしまう姿も見られた。静かにできると経験したことをそのまま声が入り、タブレットに入れることができ、バーコードにすることもできて保護者に掲示することもできた。

活動が分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- 自分の気持ちを伝える楽しさを感じることが出来ていた。
- 保護者へも掲示をしたことで、自分の感じたことを親やお友だちと共有できることも楽しんでいた。
- 録音時には、年少組や年中組は、静かにすることが難しいようで、何度か笑ってしまい、やり直ししなければいけないこともあった。年少組は時間をかけて一人ひとり声を掛けるようにしていく。年長組は、おと絵にして静かな場所で声が入ることもできた。笑ってやり直す事が多々あったので、少人数ずつおとえを行えるようにしていく。
- それぞれの年齢によって、伝えたい内容や言葉選びの方法が違って興味深かった。